

事務事業評価票

④ 経常的事務事業

事業名	名古屋市国際交流活動助成		336	予算	会計	一般会計	01		
部 門	国際都市		360	款	款	総務費	02		
施 策	国際交流・国際協力の推進		1	項目	項目	総務管理費	01		
作成部署	市長室国際交流課		02	01	02	連絡先	972-3062		
事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）						
	市内に主たる活動の場を有する、国際交流に携わる組織的かつ継続的な市民レベルの団体		事業経費の一部を助成し、市民レベルの国際交流活動の振興、各種国際交流団体の育成を図ります。						
事業の内容	<助成対象事業> ①国際的な文化・スポーツ交流活動 ②国際的な人物交流活動 ③国際的なボランティア活動 ④国際協力活動 <助成金額> ・国内事業 助成対象経費の1/2以内かつ10万円以下（但し青少年関連等の事業は30万円以下） ・国外事業 助成対象経費の1/3以内かつ10万円以下								
開始年度	平成 元 年度	根拠法令・要綱等	名古屋市国際交流活動助成要綱						
事業費・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計画掲載	名古屋市新世紀計画2010第2次実施計画			無	頁
事業費（千円）	1,220	1,660	1,700	個別計画					頁
財源内訳	国・県支出金			事業の実績		単位	16年度	17年度	目標18年度
	地方債			①	助成件数	件	11	18	20
	その他特定財源	1,220	1,660						
	一般財源			②	助成金額	千円	1,220	1,660	1,700
職員数（人）	0.2	0.2	0.2						
成果指標	事業の目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		単位	16年度	17年度	目標18年度	
①	助成件数 〔 _____ 〕		市民レベルの国際交流活動の促進を目指す観点から、助成件数を指標とします。		件	11 目 標 (20)	18 目 標 (20)	20	
②	事業参加者の満足度 〔 _____ 〕		アンケート調査を実施し、当該事業に対する事業参加者の満足度を指標とします。		%	99 目 標 (100)	98 目 標 (100)	100	
事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等									
事業参加者へのアンケート調査を実施し、活動助成に対する意義を評価しました。									
市評価									総合評価
評価	有効性	4	国際交流拠点都市を目指す本市では、「愛・地球博」の開催により市民の中で芽生えたボランティアや国際交流活動への参加を促進するためにもこの助成は重要な施策です。						A
	達成度	4							
	効率性	4							
行政評価委員会の外部評価									総合評価
名古屋市の国際交流団体の裾野を考えると、市民レベルの参加促進や満足度を高めるよう、より周知を図り、助成・育成を図っていく必要があります。									B

事務事業評価票

④経常的事務事業

事業名	姉妹都市交流事務			337	予算	会計	一般会計		01
部 門	国際都市			360	算	款	総務費		02
施 策	国際交流・国際協力の推進			1	費	項	総務管理費		01
作成部署	市長室国際交流課			02	目	目	一般管理費		01
連絡先	972-3063								
事業の目的	対象（誰を・何を）				意図（どういう状態にしたいのか）				
	名古屋市及び姉妹友好都市の市民や団体など				姉妹友好都市に関する交流、紹介事業等を通じ、両市市民の相互理解と友好親善を促進します。				
事業の内容	ロサンゼルス市、メキシコ市、トリノ市においては、各都市の情報収集や交流事業の円滑な促進に資するため、両市の市政等に精通した現地の日本人に連絡員業務を委託しています。 また、名古屋姉妹友好都市協会に対して負担金の交付を行っています。 【団体の概要】名古屋市の姉妹友好都市との交流を通じ、市民の相互理解と友好親善の促進を目的に設立された団体 【事業内容】 ・交流事業（姉妹友好都市からの使節団との交流会など） ・姉妹友好都市PR事業（シスターシティ・フェスティバル、スローフード料理講座など） ・その他交流事業（児童生徒書画展など）								
開始年度	昭和 34 年度			根拠法令・要綱等					
事業費・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計画	名古屋新世紀計画2010第2次実施計画				有 119 頁
事業費（千円）	8,960	14,498	9,798	掲載	個別計画				頁
財源内訳	国・県支出金			事業の実績		単位	16年度	17年度	目標18年度
	地方債			①	協会事業参加人数	人	49,513	76,002	56,000
	その他特定財源			②	協会会員数	会員数	398	417	535
	一般財源	8,960	14,498						
職員数（人）	0.5	0.5	0.5						
成果指標	事業の目的の成果を測る指標			指標設定の考え方		単位	16年度	17年度	目標18年度
①	協会事業参加人数		幅広い市民交流の観点から協会事業参加人数を指標とします。	人	49,513	76,002	56,000		
	〔 〃 〕				目標 (48,000)	目標 (70,000)			
②	協会会員数(団体・個人・学生)		協会の活性化という観点から協会会員数を指標とします。	会員数	398	417	535		
	〔 〃 〕				目標 (535)	目標 (535)			
事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等									
平成17年度に姉妹都市提携を結んだイタリア・トリノ市に連絡員を置き、新たな交流事業を展開しています。また、昨年度ロサンゼルス市に置いていた事務所を廃止しましたが、引き続き両市の交流事業を円滑に実施するために今年度、連絡員を置いています。									
市評価									総合評価
評価	有効性	4	姉妹友好都市交流は本市の国際化施策の重要な柱の1つであり、本事業は姉妹友好都市の市民間において、相互理解や友好親善を促進するとともに、市民レベルでの幅広い交流を促し、本市の国際化に貢献しています。						A
	達成度	4							
	効率性	4							
行政評価委員会の外部評価									総合評価
市民レベルの相互理解、友好親善を促進するためにも、参加人数や協会会員数を増やす必要があります。									B

事務事業評価票

④経常的事務事業

事業名	名古屋市公館		338	予算費目	会計	一般会計	01		
部門	国際都市		360	款	総務費		02		
施策	国際交流・国際協力の推進		1	項目	総務管理費		01		
作成部署	市長室国際交流課		02 01 02	連絡先	972-3066				
事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）					
	①国際交流展示室見学者 ②名古屋市公館の会議室等の設備			①国際交流展示室を一般開放し、本市の姉妹友好都市交流のあゆみの紹介や記念品の展示を通じて、市民の国際理解を深めます。 ②充実した会議・式典等を実施できる環境を提供するため、建物・施設の維持、管理を行います。					
事業の内容	①国際交流展示室での5姉妹友好都市のビデオによる紹介および姉妹友好都市を中心に各国からの記念品の展示等の実施。 ②建物及びレセプションホール、応接室、大・小会議室等施設の維持、管理。								
開始年度	平成元年度	根拠法令・要綱等		名古屋市公館管理運営についての基準					
事業費・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計画掲載	名古屋新世紀計画2010第2次実施計画				
事業費（千円）	67,901	53,003	57,030	個別計画					
財源内訳	国・県支出金			事業の実績					
	地方債			①	国際交流展示室の見学者数	人	16年度	17年度	目標18年度
	その他特定財源	517	525	505					
	一般財源	67,384	52,478	56,525	②	会議等開催回数	件	194	150
職員数（人）	1.0	1.0	1.0						
成果指標	事業の目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		単位	16年度	17年度	目標18年度	
	①	国際交流展示室の見学者数	国際交流展示室の市民の利用度を測るために、見学者数を指標とします。		人	5,411	4,975	5,000	
		[]				目標 (5,000)	目標 (5,000)		
	②	会議等開催回数	有効利用を測るために会議等の開催回数を指標とします。		件	194	150	200	
		[]				目標 (200)	目標 (200)		
事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等									
平成12年度から、国際交流展示室をより一層活用していただくため展示室のPRを実施しています。市内の小中学校等への見学案内送付や、市内の市民利用施設へパンフレットの配布を行っています。									
市評価								総合評価	
評価	有効性	4	設備の整った会議室等により、充実した会議、式典等を実施することができます。 国際交流展示室は、市民の姉妹友好都市への理解と小中学生の校外学習の場としても活用されています。本市の姉妹友好都市をはじめとする、国際交流推進のために役立っています。					B	
	達成度	3							
	効率性	4							
行政評価委員会の外部評価								総合評価	
見学者を増やす努力をするとともに、会議室の稼働率を増やすため庁内各部署へのPRが必要です。								B	

事務事業評価票

④経常的事務事業

事業名	留学生支援金給付事業		339	予算	会計	一般会計	01
部門	国際都市		360	算	款	総務費	02
施策	国際交流・国際協力の推進		1	費	項	総務管理費	01
作成部署	市長室国際交流課	02	01	目	目	一般管理費	01
連絡先	972-3062						
事業の目的	対象（誰を・何を） 愛知県内の大学に在学し、市内に在住する経済状況が困窮している私費留学生		意図（どういう状態にしたいのか） 国際協力の一環として留学生が勉学しやすい環境を作り、本市への留学生を増加させます。市民との相互交流を深めることで、国際理解の促進及び留学生の母国と本市との友好を深めます。				
事業の内容	(財)名古屋国際センターが実施する外国人留学生への支援金給付事業に対して補助金を交付します。 県内の大学に私費で在学し、月間収入額が10万円以下で、大学の推薦を受けた者に対して、月額1万円の支援金を給付します。 なお、受給者に対して、名古屋市の行う国際交流事業への参加を義務付けています。						
開始年度	平成 2 年度	根拠法令・要綱等		名古屋市留学生支援金給付事業補助金交付規程			
事業費・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計画	名古屋新世紀計画2010第2次実施計画		
事業費（千円）	18,000	18,000	18,000	掲載	個別計画	有	118 頁
財源	国・県支出金			事業の実績		単位	16年度
地方債				①	支給対象人数	人	150
その他特定財源	7,731	6,049	9,477				150
一般財源	10,269	11,951	8,523	②			
職員数（人）	0.1	0.1	0.1				
成果指標	事業の目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		単位	16年度	17年度
①	受給者の満足度 〔 〕		アンケートを実施し、支援金受給者が役に立ったと回答した割合を指標とします。		%	98 目標 (100)	99 目標 (100)
②	市民との交流人数 〔 〕		名古屋市等が実施する国際交流事業に参加し、市民との相互交流を深めた支援金受給者の延べ人数を指標とします。		人	268 目標 (300)	256 目標 (300)
事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等							
平成14年度から、受給者に対して名古屋市の行う国際交流事業等への参加を求め、市民との交流を促進するよう努めています。							
市評価							総合評価
評価	有効性	4	平成17年の県内大学留学生5,676人のうち、私費留学生は5,068人と9割を占めます。私費留学生の多くは経済的に厳しい環境にあるため、特に困窮度の高い私費留学生への支援は有効です。併せて、受給者に本市が行う国際交流事業への参加を求めており、市民・留学生の相互理解の促進に寄与しています。				A
	達成度	4					
	効率性	4					
行政評価委員会の外部評価							総合評価
留学生に対する経済的支援という事業目的は理解できますが、受給者に対して年2回の国際交流事業に参加を義務づけているにもかかわらず、70%の参加率は低いいため、公金を支出している以上、受給者の国際交流事業への参加がより確実となるよう、事業内容を見直してください。							C

事務事業評価票

④ 経常的事務事業

事業名	渉外事務等	340	予算	会計	一般会計	01		
部 門	国際都市	360	款	総務費		02		
施 策	国際交流・国際協力の推進	1	項 目	総務管理費		01		
作成部署	市長室国際交流課	02	01	02	連絡先	972-3064		
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）						
	本市を訪問する外国からの賓客等	① 賓客に対して礼遇を図り、本市の知名度を向上させます。 ② 表敬訪問の際に、本市の魅力をPRし、諸外国との交流に結びつけます。						
事業の内容	① 外国諸都市や外国諸機関等からの賓客の礼遇							
	② 市内の外国公館や外国諸機関等との連絡調整							
	③ 外国語文書の作成・翻訳や通訳に関する事務							
	④ 外国青年1名を国際交流員として受入れ、翻訳や賓客接遇に従事							
開始年度	昭和	年度	根拠法令・要綱等					
事業費・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計画掲載	名古屋新世紀計画2010第2次実施計画	無		
事業費（千円）	14,063	11,408	11,869	個別計画		頁		
財源内訳	国・県支出金			事業の実績				
	地方債			単位	16年度	17年度		
	その他特定財源			16年度	17年度	目標18年度		
	一般財源	14,063	11,408	11,869	① 外国文書の作成と翻訳の件数	件	670	447
職員数（人）	1.0	1.0	1.0	② 表敬訪問の受け入れ件数	件	68	61	70
成果指標	事業の目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		単位	16年度	17年度	目標18年度
	①	外国文書の作成と翻訳の件数 〔 〃 〕	外国等との連絡調整が円滑となり、業務の効率化が期待できる翻訳等の件数を評価指標とします。		件	670 目標 (500)	447 目標 (500)	500
	②	表敬訪問の受け入れ件数 〔 〃 〕	本市のPRを行うことで、知名度の向上が期待できる表敬訪問の件数を指標とします。		人	68 目標 (70)	61 目標 (70)	70
	事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等							
外国からの賓客の受入れや外国諸機関との連絡に際し、名古屋の都市魅力のPRに努めています。								
市評価							総合評価	
評価	有効性	4	外国からの賓客を礼遇し、海外での本市の知名度の向上に寄与しています。諸外国等との連絡調整、外国文書の作成や通訳業務について全庁的に支援することにより、本市の国際化を推進しています。				B	
	達成度	3						
	効率性	3						
行政評価委員会の外部評価							総合評価	
(この事業に対するコメントはありません。)							B	

事務事業評価票

④経常的事務事業

事業名	国際留学生会館の運営補助		341	予算	会計	一般会計	01	
部門	国際都市		360	算	款	総務費	02	
施策	国際交流・国際協力の推進		1	費	項	総務管理費	01	
作成部署	市長室国際交流課	02	01	目	目	国際交流施設費	09	
連絡先	972-3062							
事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）					
	愛知県内の大学に在学する外国人留学生		快適な宿泊施設を提供し、各種相談・情報提供事業や市民と留学生との交流事業を実施する国際留学生会館に対して補助を行うことにより、外国人留学生を支援し、市民との交流を促進します。					
事業の内容	財団法人名古屋国際センター(NIC)が運営する国際留学生会館の下記の事業に対し、補助金を交付します。							
	①宿泊事業		留学生への宿泊施設の提供。（単身室80室、夫婦室10室）					
	②研修事業		留学生向けの日本語講座、日本文化理解講座の開催。					
	③交流事業		地域住民との交流のため、留学生を講師とした外国語講座を開催し、またNIC地球市民教室に留学生を講師として派遣します。					
	④情報提供・相談事業		留学生から各種相談を受け、情報提供を行います。					
開始年度	平成 2 年度	根拠法令・要綱等		名古屋市国際留学生会館事業補助金交付規程				
事業費・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計画	名古屋新世紀計画2010第2次実施計画			
事業費（千円）	21,969	21,509	21,070	掲載	個別計画	有	118 頁	
財源内訳	国・県支出金			事業の実績				
	地方債			①	月平均居室使用数	人	84	85
	その他特定財源			②	入居者と地域住民との交流人数	人	延べ 438	延べ 339
	一般財源	21,969	21,509				延べ 400	
職員数（人）	0.2	0.2	0.2					
成果指標	事業の目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		単位	16年度	17年度	目標18年度
	①	月平均居室使用数	国際留学生会館居室の活用度を指標とします。		室	84	85	85
	②	交流事業に参加した留学生の延べ人数	地域住民との交流人数（NIC地球市民教室への延べ派遣人数）を指標とします。		人	438	339	延べ 400
事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等								
本施設は平成2年に名古屋市と愛知県の共同出資・職員派遣により開館しましたが、平成13年に財団法人名古屋国際センターに譲渡された後は、市と県からの補助金を受け、市の派遣職員・センター固有職員により運営されています。予算と人員の大幅な削減が行われたにもかかわらず、質を落とさず事業を継続しています。								
市評価								総合評価
評価	有効性	4	県内留学生の増加が続く中、国際留学生会館は、当地での生活に不慣れな来日年数の短い留学生を受け入れ、廉価な家賃や相談・研修事業などを通じて、支援しています。また、地域と留学生との交流を進める拠点ともなっており、本市の留学生施策の推進のために重要な役割を担っています。					A
	達成度	4						
	効率性	4						
行政評価委員会の外部評価								総合評価
地域住民との交流事業について、多くの人にPRし、留学生と市民との交流の促進を図るとともに、企業寄付の要請など、財源多元化にあたっては、より実効のあるアプローチが必要です。								C

事務事業評価票

④経常的事務事業

事業名	外国人市民サービス		342	予算	会計	一般会計	01		
部門	国際都市		360	費目	款	総務費	02		
施策	外国人市民が暮らしやすいまちづくり		2	項目	目	総務管理費	01		
作成部署	市長室国際交流課		02	01	02	連絡先	972-3062		
事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）						
	市内在住の外国人など		教育、健康、福祉、税などにかかる生活に必要な情報を、多言語で提供することにより、日本語がわからない外国人市民が、名古屋での日常生活に困らない様にします。						
事業の内容	①日常生活に必要な情報を掲載した「名古屋生活ガイド」を各区役所・支所で外国人登録時などに配布するとともに、市公式ウェブサイト上に掲載しています。 (英語/日本語1700部 ポルトガル語/日本語900部 スペイン語/日本語500部 中国語/日本語1350部 ハンゲル語/日本語800部 フィリピン語/日本語850部)								
	②広報なごやから、福祉、保健、教育、税などについて抜粋し、これらの情報を翻訳（英語・ポルトガル語・中国語・ハンゲル）して、市公式ウェブサイトに掲載しています。								
開始年度	平成 7 年度		根拠法令・要綱等 なし						
事業費・人員	16年度決算額	17年度決算額	18年度予算額	計画	名古屋新世紀計画2010第2次実施計画			有	119 頁
事業費（千円）	7,465	7,164	8,874	掲載	個別計画				頁
財源内訳	国・県支出金			事業の実績		単位	16年度	17年度	目標18年度
	地方債			①	生活ガイド作成数	冊	6,000	6,100	7,000
	その他特定財源								
	一般財源	7,465	7,164	8,874	②	ホームページ掲載回数	回	7	12
職員数（人）	0.4	0.4	0.4						
成果指標	事業の目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		単位	16年度	17年度	目標18年度	
	①	配布者へのアンケートの実施 〔 _____ 〕	アンケートを実施し、名古屋生活ガイドが役に立ったと回答した割合を指標とします。		%	-	88 目 標 (100)	100	
		②	年間総アクセス件数 〔 _____ 〕	有効利用を測るために年間アクセス件数を指標とします。		件	12,809 目 標 (30,000)	77,709 目 標 (50,000)	80,000
事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等									
当初は隔年発行(2種類)でしたが、平成13年度から毎年作成し、配布先も増やしています。平成15年度に7ヶ国語併記のものを作成しましたが、サイズが大きくなってしまったため、平成16年度には言語別に作成して1冊のサイズを縮小し、ハンドブックとして使い易くしました。また、平成16年度から公開している外国語版ホームページは、より多くの外国人市民がアクセスできるよう、名古屋国際センターのホームページによるPRや、「名古屋生活ガイド」などの印刷物にURLを掲載し、周知を図っています。									
市評価								総合評価	
評価	有効性	4	「名古屋生活ガイド」は本市に住む日本語のわからない外国人に対し、基本的な生活情報を提供するものとして高い評価を得ています。また「外国語版ホームページ」はアクセス数も年々増えており、一定の評価を得ています。					A	
	達成度	4							
	効率性	4							
行政評価委員会の外部評価								総合評価	
作成経費の節減を図るとともに、効率的な印刷部数となるよう努めてください。								B	